

令和六年度

広島大学光り輝き入試

総合型選抜（Ⅱ型）

文学部 人文学科

小論文問題

分野

日本史学

令和五年十月十四日（土）

自 十時三十分
至 十二時〇〇分

答案作成上の注意

- 一. この問題冊子は、監督者から指示があるまで開けてはいけません。
- 二. この問題冊子の枚数等は、左記のとおりです。
解答開始の指示後、直ちに左記の枚数を確認してください。

問題冊子 (この表紙を含む)		二枚	
解答用紙	下書き用紙	一枚	一枚

- 三. 受験番号は、すべての解答用紙の所定の欄に必ず記入してください。
- 四. 解答は、すべての解答用紙の所定の場所に記入してください。
- 五. 解答終了後は、解答用紙を番号順に並べてください。
- 六. 配付した解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
- 七. 配付した問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ってください。
- 八. 問題解答時間中は、監督者の指示に従ってください。

総合型選抜（Ⅱ型） 小論文問題

分野

日本史学

問 課題図書『村の日本近代史』（荒木田岳、筑摩書房、二〇二〇年）は、一般的には前近代とされる一六世紀の豊臣秀吉政権から明治時代中期に及ぶ期間を、村の近代化という観点で描いている。具体的には、単線的な近代化の過程ではなく、幕藩体制期（江戸時代）も挟むかたちで揺り戻しと「再近代化」という流れを提示している。この点を踏まえた時、村の近代化とはいったいどのようなものであったか。その概要と大まかな経緯を、人の把握と土地の把握、および「海に浮かぶ島々のようなもの」としての村と国土の分割としての村との対比を念頭に、秀吉政権期、幕藩体制期、明治時代に分けて、必要に応じ本書中に登場する用語・概念も用いながら八〇〇字以内で説明せよ。